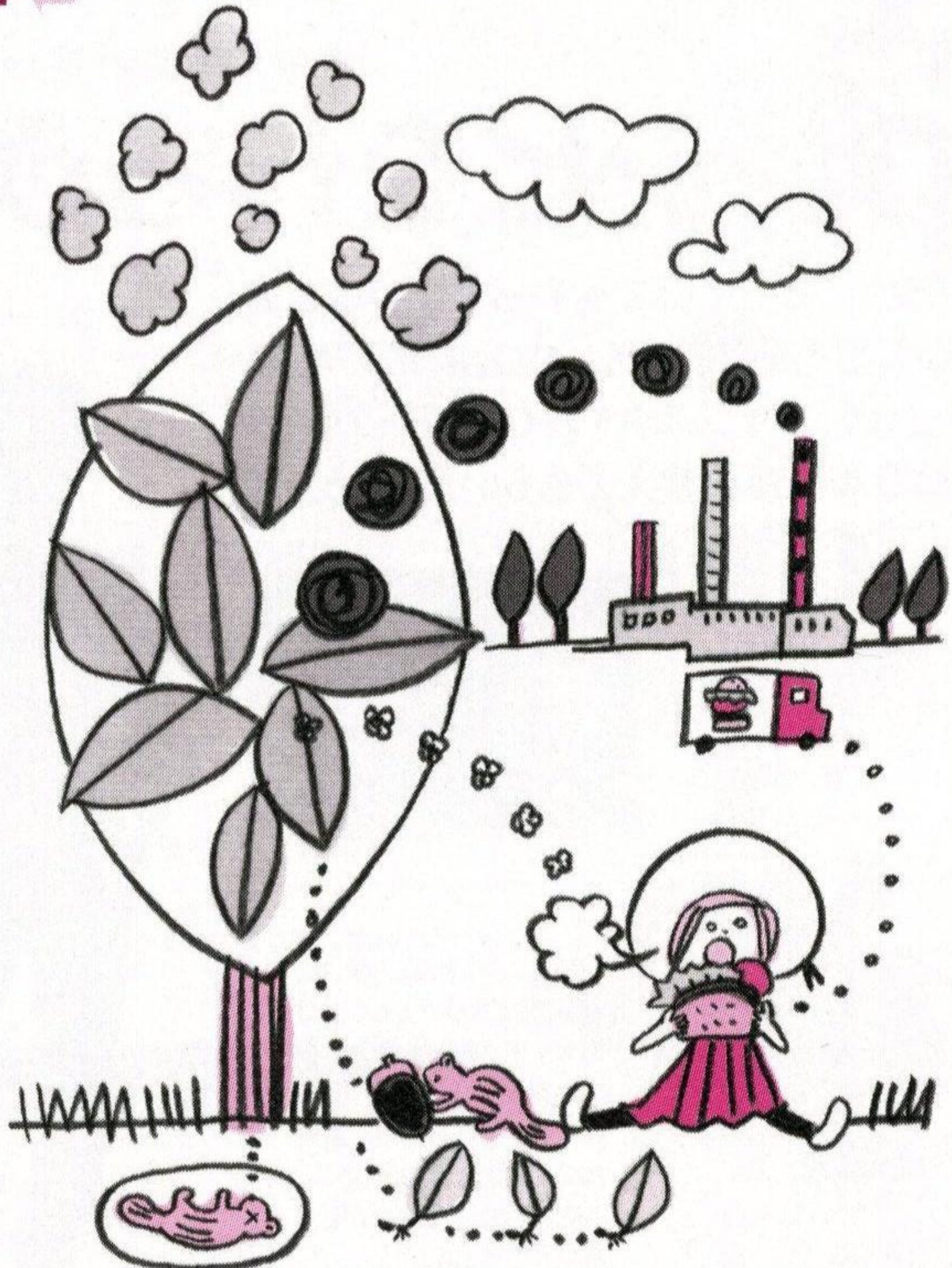




Biotope

ビオトープ



ビオトープとは、ドイツ語で「生き物の住む場所」という意味。いろいろな生き物が、自分の力で生きていくことができる自然環境をそなえた場所のことを「ビオトープ」と呼びます。自然にある森や林、湖などは代表的なビオトープ。そこにはさまざまな動植物が住み、たがいに食べたり食べられたり、複雑にかわり合いながらバランスを保って生きています。最近では、生物と共存する自然環境を人工的に復元したものもビオトープと呼ばれます。自然環境が失われつつある都市や、学校においての自然環境の取り組みとしてなど、広くビオトープが作られるようになりました。

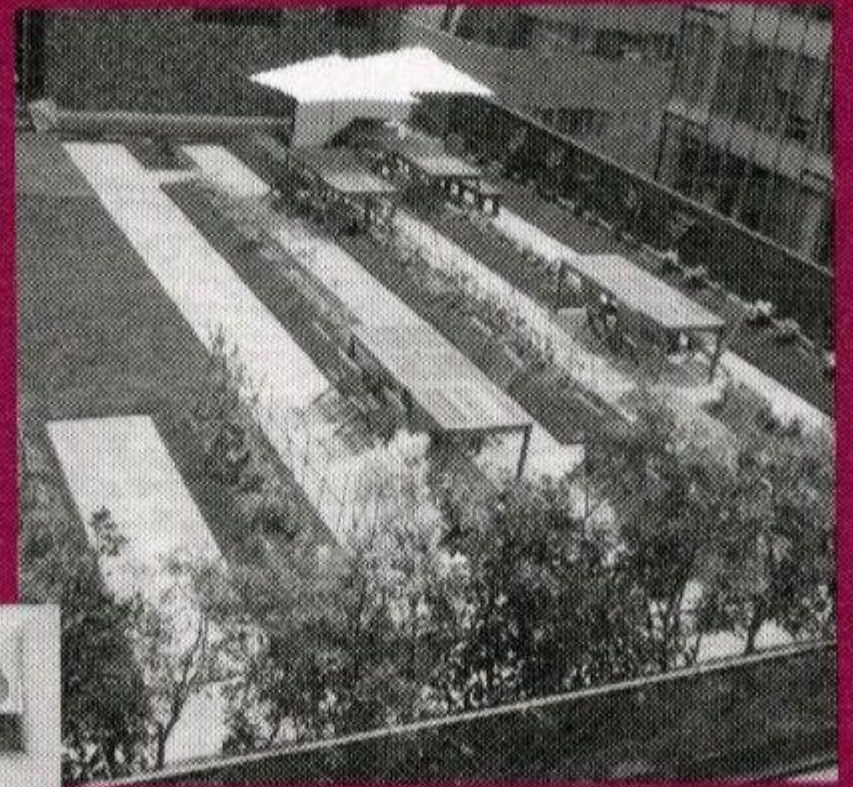
具体的には、クリーンエネルギーを使って地下水をくみ上げ、人工的に小川を作り、メダカやザリガニを放します。その周辺には野草を植え、トンボやチョウなどの昆虫や野鳥を呼び寄せ、何百種類もの生物が共存する自然環境を再現するのです。

これから、都市やその周辺などに、たくさんのビオトープを作り、いろいろな生物が各ビオトープを自由に移動できるようにネットワーク化できれば、人工的な自然環境が拡大され、失われた自然環境の回復も期待できるでしょう。都市計画そのものにビオトープを組み込み、都市の中でも生物とうまく共存できるような試みも始まっています。緑が増えれば、それだけCO₂削減にもつながります。今ある自然も、これから作る自然も大切にしくちゃ!

企業ではこんな取り組みも!

屋上、屋根、カベ…あらゆるところを緑に 「みどり、うむ。ミドリウム。」 (株)コネク

ミドリウム ネットショップも人気。
自分ができる、屋上・ベランダのガーデニングセット
「はじめてのMIDORIUM」キット¥13,400
MIDORIUMの土、WACKWACK(環境負荷の少ない東京産の杉間伐材を使用した木枠)、種(無農薬、無科学肥料で作られた固定種、5種類)、耐根シートがセットされていて、花やハーブ、野菜作りなど、自分好みの庭を作ることができます。



www.midorium.jp



緑あふれる場所、という意味の「ミドリウム」は、その名のとおり家のバルコニーやビルの屋上だけでなく、屋根や壁面まで、あらゆるところを簡単に緑でいっぱいの空間に変えてしまう画期的な緑化システムです。

それを可能にした「ミドリウム工法」は、環境への配慮も忘れません。従来の工法では、土の下にさまざまな石油化学製品が使用され、廃棄時の環境リスクも重視されていませんでした。しかし、ミドリウム工法は、石油化学製品の使用を最小限にとどめることで、エコロジ的な屋上緑化を実現。また使用する「MIDORIUM」の土は、養分をたくさん含み、高い能力をもっているため、土の入れ替えも基本的には必要なし! また、施肥や水やり回数も節約できます。

屋上緑化すると、建物屋上部分の温度を一定に保つ効果で空調効率が大幅アップ。それによりエネルギー資源を約50%も節約できます。また「MIDORIUM」の土を輸送する際に排出するCO₂量も厳しくチェック。100㎡の芝生を植えた場合は、輸送時に排出されたCO₂と同じ量のCO₂を約16日で吸収できます。(コネク社調べ)